



# ポケットイングリッシュVol.3楽しく英会話！ Week21

red states vs blue states

「赤い州」対「青い州」



さて、次のカップルの会話の意味が分かりますか？

A: Mike, should we move to California or Oregon?  
 B: Neither!  
 A: Hey, why not?  
 B: They're both **blue states**. I'd prefer to live in a **red state** like Texas or Oklahoma.  
 A: I don't know, Mike...those states are too conservative for me.  
 B: Well, California and Oregon are too liberal for me!  
 A: Then let's move to one of those "purple" states!  
 B: Ha ha.

A: マイク、カリフォルニアかオレゴンに引っ越さなきゃいけないかしら。  
 B: どちらもイヤだな！  
 A: あら、どうして？  
 B: 両方とも**青い州**だろう。  
 僕はテキサスとかオクラホマみたいな**赤い州**に住みたいね。  
 A: そうかしら、マイク。ちょっと私には保守的すぎるかも。  
 B: カリフォルニアやオレゴンにはリベラルすぎるな！  
 A: じゃあどこか紫の州にしましょうか！  
 B: (笑)

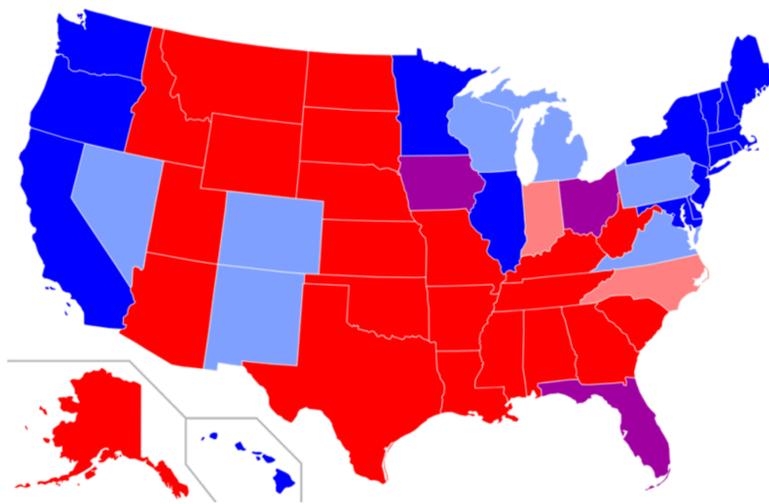
アメリカ大統領選は11月3日に投票。  
 共和党トランプ大統領が再選するか、それとも民主党バイデン前副大統領か、世界中が注目していますね。  
 アメリカ合衆国の二大政党、共和党と民主党。アメリカでは州ごとにどちらかの党が強い傾向があります。

保守とされる共和党のイメージカラーは赤で、リベラルとみなされる民主党のイメージカラーは青。メディアでは、それぞれの支持層が多い州を「レッドステイト(赤い州)」「ブルーステイト(青い州)」という語でよく表します。

テレビで赤は保守主義、青は自由主義を意味して政治討論が行われているのを目にするのも多いです。

中には、共和党と民主党の支持率が拮抗していて、選挙のたびに勝利政党が変動する州もあり、それらの州は赤と青が混ざった「パープルステイト(紫の州)」と呼ばれたりします。日本語のニュースではよく「激戦州」という言い方をされていますね。

大統領選の結果に大きな影響を与える重要な存在、紫の州。さて今回の選挙ではどうなるのでしょうか！？



過去のポケットイングリッシュVol.1、Vol.2を下記に掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

[ホーム](#) > [市民・一般の方へ](#) > [ポケットイングリッシュ](#) (バックナンバー)

## ■ 学校紹介

- 校長あいさつ
- 建学の理念
- 富山市立富山外国語専門学校のあゆみ
- 交通アクセス
- 学校評価
- 学校要覧

## ■ 学科紹介

- 実務英語科
- 専攻科

## ■ 学校の特色

- 多数の外国人講師
- 学費
- 資格/検定
- カリキュラム
- 少人数のクラス(個別指導)
- 海外研修
- スクールライフ

## ■ 受験生の方へ

- [在学生の方へ](#)
- [卒業生の方へ](#)
- [市民・一般の方へ](#)

